

船舶インシデント調査報告書

令和2年1月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（推進器故障）
発生日時	令和元年9月15日 12時30分ごろ
発生場所	福岡県 ^{あしや} 芦屋町芦屋港北西方沖 芦屋港北防波堤灯台から真方位331° 6.3海里付近 （概位 北緯33° 59.4′ 東経130° 35.4′）
インシデントの概要	プレジャーボート ^{ジョン・ファイ} JUN-Vは、漂流中、プロペラが脱落し、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和元年9月25日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート JUN-V、5トン未満（長さ7.49m）
船舶番号、船舶所有者等	290-52561福岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約5m/s、視界 良好 海象：波高 約0.75m
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、釣りを終え、主機を始動してクラッチを前進位置に入れたものの前進せず、運航不能となり、船長が海上保安庁に救助を要請し、巡視艇に ^{えい} 航されて帰港した。 本船は、帰港後、機関整備業者が点検したところ、プロペラが脱落していた。 船長は、平成30年5月ごろ自身でプロペラを交換しており、その際、プロペラの締め付けナットをモンキースパナで締め付けていた。
分析	本船は、漂流中、プロペラが脱落したことから、推力が得られなくなり、運航不能となったものと推定される。 プロペラは、船長が、プロペラ交換をした際、プロペラの締め付けナットをモンキースパナで締め付けたことから、同ナットの締め付け力が弱く、同ナットが運航中の振動等で緩んで外れ、脱落したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、漂流中、プロペラの締め付けナットの締め付け力が弱く、プロペラが脱落したため、推力が得られなくなったことにより発生したものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船長は、プロペラを交換する際には、機関整備業者に依頼して行

	<p>うか、又はトルクレンチ等の専用の工具を使用して規定の締め付け力を取り付けること。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、プロペラの取り付け部に緩み等が生じていないか定期的に点検を行うこと。
--	--